学校番号	314

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術２」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰで養われた創造的な表現と鑑賞の能力をさらに伸ばし、発展的に美的直感力や発想力、構想力を培うため作品制作や作品鑑賞を行います。
・作品制作では基本的課題や練習課題を中心に、表現力や技術の基礎を学びます。日常生活の中での「美術」の影響を感じ、美術への視野を広げましょう。また、自分の納得のいくところまで突き詰める探究心を養いましょう。
・鑑賞授業では自分の気持ちを表出したり、他者の感じ方を否定せず受け止めたりといった感じ方の違いや作品に対する思いを知り、より作品を深く味わう練習をします。
・道具の扱い方、後片付け等のマナーを身に付け様々な角度から物事を考えるようにしましょう。
※作品制作の進度や社会情勢によっては内容を一部変更することがあります。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
【知識及び技能】
創造的な美術表現をするために、基本的知識・技能を踏まえ新たな表現を身に着けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
情報を収集し整理分析しまとめる力を高めるため、想像力を働かせ構想を練ることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
多様な表現方法や鑑賞の創造活動に意欲的に取り組み、作品や文化を理解し愛好しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	美術Ⅰで得た基本的な知識・技能を活用し、創造的な美術の表現をするために意図に応じて、表現方法を創意工夫している。作品を最後まで完成させることができる。	表現のために必要な情報を収集し整理、分析、まとめることができる。調べた知識を自分の中で解釈し他者の意見を取り入れ目的や機能、美しさなどから主題を生成し、独創的で創造的な表現の構想を練っている。 最後まで完成させる力がある。	多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 美術作品や美術文化などを理解しようとしている。 授業に必要な用意・片付けができ積極的に取り組もうとする姿勢が見られる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	「錯覚」	【絵画・彫刻】 ・錯覚を使った色彩構成 【デザイン】【鑑賞】 ・デザインの鑑賞 ・デザインの構想 ・振り返りシート(鑑賞)	美術Ⅰでの基礎力を生かし、発展的に学ぶ a:指示通りに道具を使いこなし、丁寧に作品を完成させることができる。 b:決められた範囲内で独創性を表現する工夫・構想を考えることができる。 c:他者の作品を鑑賞することで自己作品を客観的に分析することができる。また、他者の作品について感じた気持ちを言葉に表出することができる。	作業観察 完成作品	作業観察 色構成	準備片付 鑑賞
	「鑑賞」	【鑑賞】 ・著名作家の作品や尺者について知る ・自分の気持ちや感じたことを言葉に手表出する ・他者の意見を聞き、さらに見方や理解を深める		作業観察 完成作品	作業観察 色構成	準備片付 鑑賞

2	「立体デザイン」	【デザイン】【鑑賞】 椅子を通してデザインについて考察し、オリジナルのデザインの椅子を考える 【デザイン・鑑賞】 ・デザインの考察 ・デザインの試案 ・デザインを立体にする ・デザインボードで PC 発表 ・他者の作品鑑賞 ・レポートの作成	自身の納得いく完成度を目指す a: 指示通りに道具を使いこなし、丁寧に作品を完成させることができる。 b:決められた範囲内で独創性を表現する工夫・構想を考えることができる。 c:他者の作品を鑑賞することで自己作品を客観的に分析することができる。また、他者の作品について感じた気持ちを言葉に表出することができる。	作業観察 完成作品	作業観察 アイディアスケッチ	準備片付 完成作品鑑賞 振り返りシート
	「シルクスクリーン版画」	【版画表現】【鑑賞】 ・色の重なりをイメージする ・版特有の制作過程を理解する ・作品を制作する ・他者の作品鑑賞	版による表現 a: 指示通りに道具を使いこなし、丁寧に作品を完成させることができる。 b:決められた範囲内で独創性を表現する工夫・構想を考えることができる。 c:他者の作品を鑑賞することで自己作品を客観的に分析することができる。また、他者の作品について感じた気持ちを言葉に表出することができる。	作業観察 完成作品	作業観察 アイディアスケッチ	準備片付 鑑賞 振り返りシート
3	「イメージ画」	【モチーフのあるイメージ画】 ・モチーフを見立てる ・イメージを膨らませ、目の前にないストーリーを表現する。 ・モチーフの描写 ・イメージを形にする表現を学ぶ ・色彩設計 ・相互鑑賞 ・自己評価シート	「見る」の向こう側を表現 a: 指示通りに道具を使いこなし、丁寧に作品を完成させることができる。 b:決められた範囲内で独創性を表現する工夫・構想を考えることができる。 c:他者の作品を鑑賞することで自己作品を客観的に分析することができる。また、他者の作品について感じた気持ちを言葉に表出することができる。	作業観察 完成作品	作業観察 アイディアスケッチ	完成作品鑑賞 振り返りシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度